

2017年度 事業報告書

2017年4月1日

～

2018年3月1日

(認定)特定非営利活動法人 国際協力NGO・IV-JAPAN

埼玉県さいたま市大宮区三橋2-545-2
シティヒルズ101

2017年度事業報告書

埼玉県さいたま市大宮区三橋2-545-2 シティヒルズ101
 特定非営利活動法人 国際協力NGO・IV-JAPAN
 代表理事 富永幸子

1. 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日・実施場所・その他詳細
(1) 国際協力事業	IV奨学金支給: ①カノック奨学金ドナーを日本全国より募り、タイ、ラオスの子ども達と職業訓練生、計120名に奨学金を支給し、教育の底上げに寄与した。	実施日時:2017年4月～2018年3月 実施場所:タイ・ラオス 従事者数:2名 受益対象者の範囲及び人数: タイ40名(農村の小中学生)ラオス80名(職業訓練生)
	②チャンパー山の民奨学金制度を2017年度より新たに設けドナー募集を開始し、6名のドナーを得た。ホスピタリティ・介護職業訓練を受ける極貧の訓練生に6か月間の食費、交通費等を支給するもの。2019年より支給を開始する。	実施日時:2017年11月～2018年3月31日 実施場所:日本 従事者数:2名 受益対象者の範囲及び人数:0名(2019年から支給スタートのため)
(2) 国際協力事業	木工職業教育校におけるトレーナーの技術向上プロジェクト (JICA・草の根パートナー事業 2018年1月～2021年12月の4年間事業): ラオス・ビエンチャン都のVEDI(教育省職業教育開発機関)をカウンターパートに、木エトトレーナーの技術向上を目指した木工職業訓練プロジェクトが、2018年1月16日より開始した。 1月～2月は、カウンターパートであるVEDIとの協議を重ね、プロジェクトの今後の展望について、共通理解を深めることに努めるとともに、3月に実施予定の「事前調査」の準備に取り組んだ。 3月は、7～9月に実施する各県木工職業訓練所のトレーナーの技術向上のための研修プログラムのため、ラオス北部および南部の木工学校10校に対して事前調査を行った。また、ラオスにおける家具のニーズや家具産業の位置づけを見極めるための市場調査も実施した。	実施日時:2018年1月16日～3月31日 カウンターパート:ラオス・ビエンチャン都VEDI(教育省職業教育開発機関) 実施場所:ラオス・ビエンチャン都VEDI木工職業訓練所 従事者の人数:7名 受益対象者の範囲及び人数:12名(VEDI木エトトレーナー2名,県職業教育校木エトトレーナー10名)
(3) 国際協力事業	地方の女性・青年の就業促進のためのホスピタリティ・介護職業訓練新規申請 (外務省・日本NGO連携無償資金協力 2018年10月～2021年9月の3年間事業): ラオスの、特に収入が低い地方の女性・青年を対象としたホスピタリティ・介護職業訓練プロジェクトの実施に向けて、3月27日、外務省へ申請書を提出し、受理された。外務省正式内定は2018年6月の見込みである。	実施日時:2018年1月～3月31日 カウンターパート:ラオス・ビエンチャン都VEDI(教育省職業教育開発研究機関) 実施場所:ラオス・ビエンチャン都ホスピタリティ・介護職業訓練センター(新築予定) 従事者の人数:4名 (申請段階のため、事務局スタッフのみ) 受益対象者の範囲及び人数:0名(申請段階のため)
(4) 国際協力事業	タムスア村小学校増築事業(伊藤裕子基金): シェンクワン県ノンヘット郡タムスア村の小学校に新教室を増築し、2017年5月14日にハンドオーバー式を行った。	実施日時:2017年5月14日 実施場所:ラオス・シェンクワン県ノンヘット郡タムスア村 従事者の人数:3名 受益対象者の範囲及び人数:タムスア村小学生および村民
(5) 国際協力事業	タソモ村小学校増築事業(齊藤加代基金): ビエンチャン都タソモ村の小学校を増築し、2017年9月3日にハンドオーバー式を行った。	実施日時:2017年9月3日 実施場所:ラオス・ビエンチャン都タソモ村 従事者の人数:10名 受益対象者の範囲及び人数:タソモ村小学生および村民

事業名	事業内容	実施日・実施場所・その他詳細
(6) 国際協力事業	マイクロファイナンス事業(夢屋基金): 2017年8月、先行木工事業の6期上級コース修了生に対して、家具製作で起業するためのマイクロファイナンスローン資金を支給した。	実施日時:2017年8月2日 実施場所:ラオス全県 従事者の人数:3名 受益対象者の範囲及び人数:1名(木工訓練終了生)
(7) 国際協力事業	JPF災害緊急支援: 2017年度は災害緊急支援実施実績なし。今後のJPF加入の継続について、2017年度第1回理事会から協議し、2017年度第2回理事会にて、継続しないことが決議された。会員継続は2018年9月まで有効。	実施されず
(8) 国際協力事業	ネパール・ゴルカ郡における教育環境改善事業(彩の国埼玉国際交流基金+斉藤+吉野+片岡寄付金): ネパール・ゴルカ郡パティスワラ村にあるシュリータングリチヨーク中等高等学校にて、①コンピューター15台および周辺機材の導入、②校舎の修繕、③ネパール人短期専門家によるコンピューター指導の3つの事業を実施し、同校の教育環境の改善に寄与した。	実施日時:2017年9月～2018年3月 カウンターパート:ネパール ゴルカ郡・パティスワラ村シュリータングリチヨーク中等高等学校、埼玉県国際交流協会 実施場所:ネパール ゴルカ郡・パティスワラ村シュリータングリチヨーク中等高等学校 受益対象者の範囲及び人数:約1,450名(同校生徒とその家族、教員、IT講習受講学生)
(9) 国際協力事業	ビエンチャンレスキュー消防車、救急車寄贈(埼玉県国際交流協会中古資機材リサイクル国際協力事業): 2018年3月13日付の埼玉県国際交流協会からの「車両受け取りに関する決定通知書」をもって、埼玉県中央広域消防本部から消防車が、入間東部地区消防本部から救急車がそれぞれ供与されることが決定した。車両の輸送費および修理費については、車両受け取り団体であるラオス・ビエンチャンレスキューが、在ラオス日本大使館へ「草の根・人間の安全保障無償資金協力」を申請し、捻出することとなった。	実施日時:2017年6月～2018年3月 カウンターパート:埼玉県国際交流協会 実施場所:日本、ラオス・ビエンチャン都 従事者の人数:4名 受益対象者の範囲及び人数:ビエンチャン都民およびビエンチャンレスキュー1623登録ボランティア400名
(10) 国際協力事業	IV-JAPANお多福ラオ日文化センター: 7月23日から河島理事がお多福レストラン事業を視察、経営状況を考慮し、レストラン部門は2017年10月をもって閉鎖することとなった。それに伴い、茶道教室はメルキュールホテルに、文化交流事業はIVラオス事務所に、それぞれ移転することとなった。	実施日時:2017年4月～2017年10月 実施場所:ラオス・ビエンチャン都 従事者の人数:2名 参加者:8月3日、9日JOCA沖縄高校生受入れ、8月5日沖縄県連盟ガールスカウト受入れ、他
(1) 国際理解・開発教育事業	大学生インターン、社会人ボランティア受入: 当会ラオス事務所にて、2018年2月11日～2月26日にかけて、文京学院大学から2名をインターン生として受け入れた。「30周年事業報告会用ブンスン(当会美容職業訓練卒業生)インタビューVTRづくり」、「HPブログの更新」、「職業訓練体験」、「上級訓練生に対する英語クラスの実施」などを行った。また別団体として文京学院大学、芝浦工業大学、茗溪学園をスタディツアーとして受け入れ、職業訓練所見学等を行った。	①文京学院大学インターンシップ 実施日時:2018年2月11日～2月26日 実施場所:ラオス・ビエンチャン都 参加者:2名 ②文京学院大学スタディツアー 実施日時:2018年2月8日 実施場所:ラオス・ビエンチャン都 参加者:8名 ③芝浦工業大学スタディツアー 実施日時:2018年3月1日 実施場所:ラオス・ビエンチャン都 参加者:12名 ④茗溪学園スタディツアー 実施日時:2018年3月28日 実施場所:ラオス・ビエンチャン都 参加者:9名

事業名	事業内容	実施日・実施場所・その他詳細
(2) 国際理解・ 開発教育事 業	IV-YOUTHの活動(コペニカ、J&L他): さいたま市見沼国際友好フェア2017、グローバルフェスタJAPAN2017、さいたま市浦和国際ふれあいフェア、さいたま市大宮区民ふれあいフェア、埼玉県国際フェア2017に出店し、ラオス雑貨を販売するとともに、当会の広報活動を行った。	①国際友好フェア2017 実施日時 : 2017年5月3日、4日 実施場所 : 市民の森・見沼グリーンセンター ボランティア: 9名 ②グローバルフェスタJAPAN2017 実施日時 : 2017年9月30日、10月1日 実施場所 : お台場 ボランティア: 12名 ③浦和国際ふれあいフェア2017 実施日時 : 2017年10月8日 実施場所 : 浦和パルコ前 ボランティア: 8名 ④大宮区民ふれあいフェア 実施日時 : 10月27日 実施場所 : 大宮ソニックシティ ボランティア: 3名 ⑤埼玉県国際フェア2017 実施日時 : 11月5日 実施場所 : さいたま新都心 ボランティア: 6名
(3) 国際理解・ 開発教育事 業	第20回スタディツアー(ラオス・タイ): 参加者計8名が、ラオス・タソモ小学校ハンドオーバー式に参加し現地の教育事情を視察するとともに、タイ・メーホンソンの山岳民族の子どもへの奨学金授与式に参加した。	実施日時: 2017年8月30日～9月9日 実施場所: ラオス・ビエンチャン都、タイ 参加者: 8名
国内活動	アジア文化理解講座: ブンロム氏に講師を務めて頂き、ラオス語学、文化、経済、社会等を学ぶ機会を作り、アジア理解の促進を図った。全部で4回実施した。	5月10日: 第1回アジア文化理解講座 5月31日: 第2回アジア文化理解講座 6月21日: 第3回アジア文化理解講座 7月12日: 第4回アジア文化理解講座 参加者: 延べ16名
NPO/NGO ネットワーク キング促進 事業	1. 埼玉国際協力協議会(通称・埼玉NGOネット): 団体会員 2. (特活)国際協力NGOセンター (JANIC): 正会員 3. さいたま市国際NGOネットワーク=団体会員 4. 国際NGOネットワーク(ラオス)=正会員 5. ジャパンプラットフォーム(JPF)=加盟団体(2018年9月まで) 6. アジア・コミュニティ・トラスト=登録団体 7. さいたま市大宮区市民活動ネットワーク 8. 大学協働事業・出前講座: 各大学 9. ラオス国際NGOネットワーク 会員 10. 彩の国さいたま国際交流・協力ネットワーク 監事団体	実施日時: 通年 実施場所: 埼玉県内、全国、ラオス
その他	広報紙発行・活動報告、他: 会員及び一般市民に対する広報活動 1. IVニュース (3回発行) 2. ホームページ (年数回更新) 3. イベント出店(5回) 4. NHKラジオ深夜便ラオスレポート(年4回) 5. 30周年記念事業実行委員会開催 6. 2017年12月7日 在外公館長(日本大使)表彰受賞 7. 2018年2月7日 埼玉グローバル賞受賞	1. 7月31日、11月30日、3月31日発行 2. ホームページ (年数回の更新を実施) 3. 上記、「IV-YOUTHの活動」を参照 4. 年4回放送、富永 5. 池田実行委員長のもと3回実施 6. 富永受賞

2. 収益事業 なし